

あかしあ

1995
春

■ 震災特集号



住民パワー 結集

あかしあ震災特集

1月17日午前5時46分。阪神・淡路北部を襲ったM7.2の巨大地震は、阪神地域のテクノポリスを瓦礫(がれき)と焦土の街へと変貌させ5千人を超える尊い命を奪いました。あかしあ台から僅か南に20数km隔てたところで起きた突然の惨劇に、私たちは、被災地で連絡の取れない家族、親族、友人、知人の安否を心配しながらも物資の提供や義援金協力、ボランティアなど懸命の救援活動に取り組みました。その貴重な記録をここに報告をします。

自治会から1月20日に配付しました「兵庫県南部地震に関するお知らせ」で救援物資・義援金・ボランティア募集の呼びかけをしましたところ翌日から多数の皆様のおかげでのご協力をいただきました。

物資 ボール 408箱

救援物資は、食料品・衣類・毛布等をダンボール箱で408個(2月28日メ切)ご提供いただきました。物資は、当日に市災害対策本部に託されその日のうちに神戸、芦屋、

西宮市など被害の大きかった被災地に届けられました。提供いただいた救援物資のうち321箱は、21日から23日の3日間に寄せられたもので物資全体の79%に当たり、被災地で最も物資の不足が心配されていた時期だけに実に有効に活用されました。

義援金 267万

被災地への義援金は、26万3千500円(2月28日メ切)の貴重な浄財が、あかしあ台住民の皆様から寄せられました。

自治会では、早速、三田市福祉総務課を通じて日本赤十字兵庫県支部に託しました。



救援物資と義援金が次々届けられる



物資は被災地へ直行

(表紙の写真)震災で一時あかしあ台小学校に通っていた児童とお別れの日

被災地への支援



早朝から物資の仕分けをするボランティア

ボランティアに 150名フル回転

地震4日後の21日の日曜日に早朝からあかしあ台コミュニティハウスでは、救援物資の仕分け、梱包など、たくさんの方にお手伝いいただきました。そのボランティアの数は学生の方々から主婦、お年寄りなど実に150名にのぼりました。

ボランティアの皆様の協力を得て、救援物資の種類、数量を細かく明示しダンボール箱に梱包できたためすぐに被災地へと送り届けることが出来ました。

ガンバレ阪神淡路

1月17日の早暁(そうぎょう)、5時46分、阪神地域の地殻を裂く有史以来ともいわれる大地震が発生。その日の夕刊に「近畿烈震、死者二百三人、行方不明三百三十一人」と報じられました。これが三日後には、四千四十八人、七百二十七人に修正。発生から6時間も経過している時点で

も状況の部分も掌握されていない。このことに象徴されるように通信・情報の機能や交通移動手段、行政機構など都市機能がすべて破壊されて停

止していました。瞬時に都市の広域が壊滅するという想像を絶する自然の猛威が山向こうの人々を直撃。その被災者三十万人。これを私達は「我が街、三田か

すべき、しなければの思いの高まりの中、あかしあ台自治会は救援物資と義援金を募る行動を起こし、十九日付け「お知らせ臨時号」で会員の皆様にご協力をお願いしました。

その額二百六十六万三千五百円。この震災が出勤時間に、あるいは勤務時間帯に起こっていたらと思うと身の毛がよだつ思いがします。昼間、地域にいる主婦とお年寄りだけでも対応できる、必要最小限の継続性と実効性のある自治会としての災害への備えを準備するの必要を感じます。地域社会にとつてのこの重い荷物をお互いに背負いあつていかなければと考えています。

「あかしあ」の心届いた

らすぐそこ、六甲の山波の向こう側の隣人の悲惨」としてとらえました。この寒空の中、全てを失い住む家もなく苦しんでおられる現状に何かをな

包発送作業にご参加いただき

二十一日から四日間あかしあ台コミュニティハウスは大混雑。衣料・食料を届けてくださった皆様、選別整理、梱

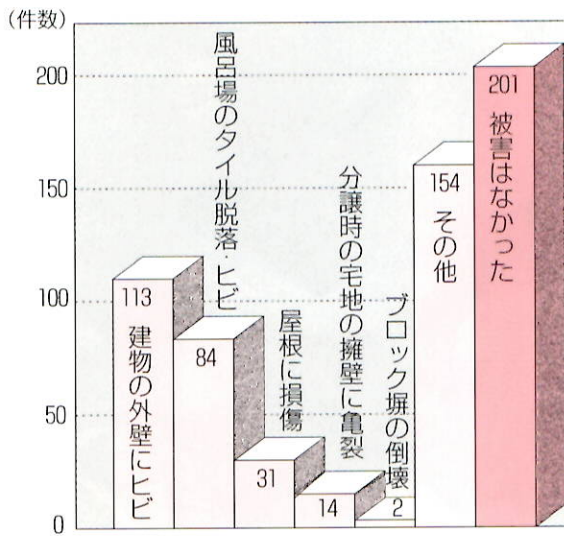
包発送作業にご参加いただき

義援金へもこれだけのご賛同を頂けるとは思いもよみませんでした。その額が従来の感覚額の常識をはるかに越えていたことを思い、ただ感謝！。

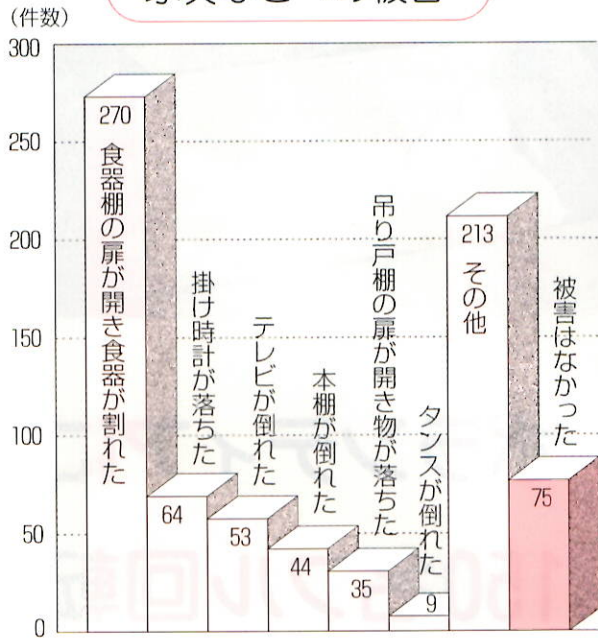
松本 強 会長

6割の家屋被害

家屋などへの被害



家具などへの被害



自治会では、阪神淡路大震災で住民の皆様がどのような被害を受けたのか。また、自治会に対してどのような要望があるのかを調査するため、2月1日に「兵

あかしあ震災アンケート

庫県南部地震に関する調査」のアンケート用紙を全戸配付したところ526通（回収率25.3%）の回答がありました。その結果がこのほどまとまりました。

被災親族 3割受け入れ

アンケート結果から住宅に関する被害では、建物の外壁にひび21・4%、風呂場のタイルが脱落15・9%、屋根瓦の損傷5・8%、その他の被害29・2%など何らかの被害が出た住宅は、かなりの世帯であったと考えられます。逆に被害が無かった世帯は、38・2%という結果から、全体のほぼ6割の世帯で何らかの被害が出たと考えられます。

また、住宅内での被害は、食器が割れたという被害が最も多く51・3%にのびます。次いで掛け時計が落ちた12・1%、テレビが倒れた10・0%などの結果が出ています。被害が無かった家庭が14・2%という結果から家具に何らかの損傷があったのは、全体の約8割と考えられます。

神戸市、宝塚市、西宮市などで被災された親族、知人を受け入れた家庭（現在も受入れている世帯や将来受入れる予定のところも含む）は、164世帯にのぼり全体の31・2%という結果になっています。神戸市から受入れている世帯が最も多く、84件。つづいて西宮市40件、宝塚市19件の順になっています。

主な意見

◆ 身近な震災であったためか地域の皆様の救援のための気持ちが一つになり自治会あげでの活動となったことを、心強く感じました。特にこのたびボランティアとして活動された女性の方々のやさしさと強さに感心するとともに敬意を表したいと思います。

◆ 今回の震災の一連の経過を

◆ 見ても明らかのように、三田市全域にもし大災害が起こったとしても、行政に初動体制を求めるとしても無理。とつぎの場合は自分達で自分たちを守らなければならぬのが良くわかりました。今のあかしあ自治会は会員数があまりにも多く、もう少し丁目ごとに細分化しお互いに近隣同士の結びつきの大切さを感じられるようにしなければと思います。

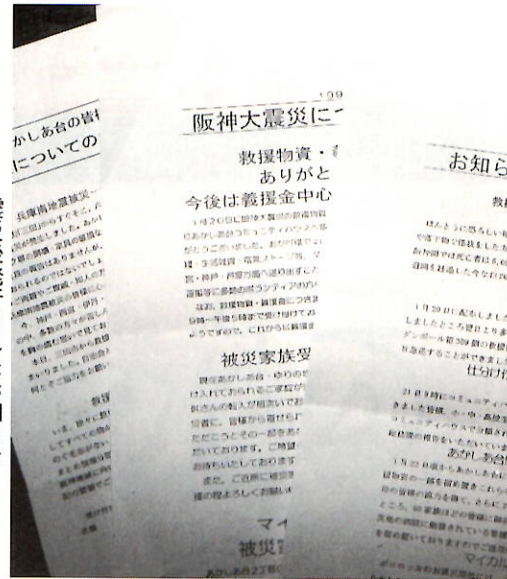
◆ 当地に来る前に神奈川県に住んでいました。ここでは避難場所の地下には二百トン～五百トンの地下水槽（水道水循環式）を設けてありました。これは防火消火にも利用できるし生活用水としても利用できます。市の公園・運動場の地下に貯水設備を建設される事を望みます。

◆ 極寒の時ですので出来る限り暖かい衣類と思い、クリーニング済みのものをバックキングケースに入れ、少しばかりの義援金と一緒にコミュニティハウスへ。ハウスは大変な混雑でした。他市にもかかわらず人間として、日本人の連帯感の強さに私は感動しました。

質問と回答

- Q 1 あなたのお住まいは
- | | |
|----------|-------------|
| ア 高層集合住宅 | 48 (9.1%) |
| イ 中層集合住宅 | 77 (14.6%) |
| ウ 戸建て住宅 | 401 (76.3%) |
- Q 2 あなたの住宅にどのような被害がありましたか
(複数回答可)
- | | |
|-----------------|-------------|
| ア 屋根に損傷があった | 31 (5.8%) |
| イ 風呂場のタイルに脱落・ヒビ | 84 (15.9%) |
| ウ 建物の外壁にヒビ | 113 (21.4%) |
| エ ブロック塀の倒壊 | 2 (0.3%) |
| オ 分譲時の宅地の擁壁に亀裂 | 14 (2.6%) |
| カ 被害はなかった | 201 (38.2%) |
| キ その他 | 154 (29.2%) |
- Q 3 住宅内ではどのような被害がありましたか
(複数回答可)
- | | |
|------------------|-------------|
| ア テレビが倒れた | 53 (10.0%) |
| イ 本棚が倒れた | 44 (8.3%) |
| ウ タンスが倒れた | 9 (1.7%) |
| エ 掛け時計が落ちた | 64 (12.1%) |
| オ 食器棚の扉が開き食器が割れた | 270 (51.3%) |
| カ 吊り戸棚の扉が開き物が落ちた | 35 (6.6%) |
| キ 被害はなかった | 75 (14.2%) |
| ク その他 | 213 (40.4%) |
- Q 4 あなたのご家族の中に今回の地震で怪我をされた方はおられますか。
- | | |
|--------------|-------------|
| ア 重症者がいる | 0 (0%) |
| イ 軽傷者がいる | 1 (0.2%) |
| ウ 怪我をした者はいない | 525 (99.8%) |
- Q 5 今回の地震で被災されました親戚・知人の方を自宅に受け入れられましたか。また、今も受け入れておられますか。
- | | |
|---------------|-------------|
| ア 現在受け入れている | 50 (9.5%) |
| イ 一時受け入れた | 94 (17.9%) |
| ウ これから受け入れる予定 | 20 (3.8%) |
| エ 受け入れていない | 362 (68.8%) |
- Q 6 あかしあ台で何らかの災害があった場合の避難場所は、あかしあ台小学校、あかしあ台コミュニティハウス、ゆりのき台中学校となっていますが、今回の地震発生までにそのことをご存じでしたか。
- | | |
|----------|-------------|
| ア 知っていた | 315 (59.9%) |
| イ 知らなかった | 201 (38.2%) |
| ウ その他 | 10 (1.9%) |
- Q 7 あかしあ台自治会に要望する災害対策があれば○印をつけてください (複数回答可)
- 質問と回答の結果は、右グラフ(災害時の対応)参照

震災後発行されたお知らせ



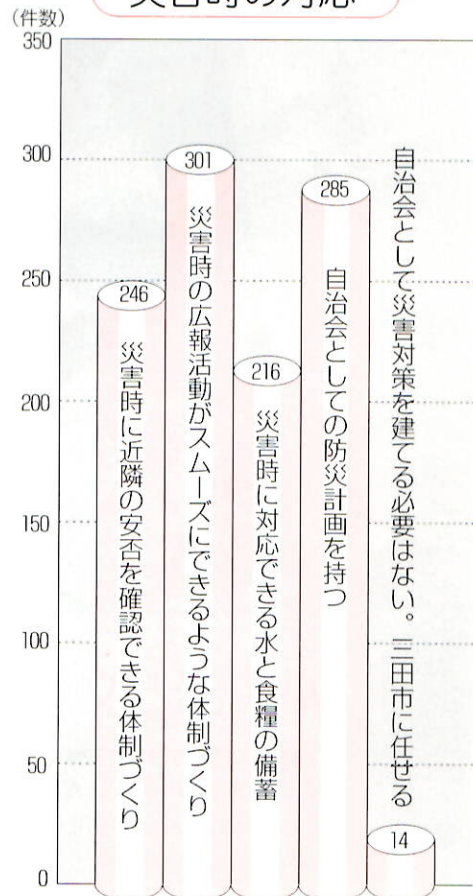
自治会への要望

自治会への災害対策の要望では、災害時の広報体制の充実に301件、自治会としての防災計画を持つべき285件、安否確認の体制づくり246件、食料の備蓄216件とたくさんの方の要望をいただきました。今後の自治会運営に反映させていただきます。

災害発生時の避難場所は、59・9%の方は「ご存じでしたが、まだ38・2%の方は、「しらなかった」と回答されています。

地震やその他の災害が発生した場合、あかしあ台コミュニティハウスとあかしあ台小中学校、ゆりのき台中学校が避難場所となっていますのでご注意ください。また、災害発生時の対応など日頃から家庭内で話し合ってください。

災害時の対応



災害広報体制の充実トツプ

フォトニュース

AKASHIA PHOTO NEWS



お別れ授業

震災のため神戸の蓮池小学校からあかしあ台小学校に一時転校していた小倉有美子ちゃんとお別れの日、1年5組クラスメイト全員で手作りのプレゼントを渡し、有美子ちゃんとの最後の授業を楽しみました。



婦人部と文教部に分割

婦人文教部最後の部会が2月25日コミュニティハウスで開かれ、同部の業務が増加したため来年度から婦人部と文教部に分割することを確認し、来年度の運営方針などについて話し合いました。

■この冊子は、再生紙を使用しています。